

平成21年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

1 部門 「林業事業体による森づくり」部門

2 賞 間伐推進中央協議会会長賞

3 受賞者 松浦市森林組合

住所 長崎県松浦市志佐町浦免 275

電話 0956-72-0477 FAX 0956-72-5012

4 概要 松浦市森林組合は、これまで、定性間伐+林内作業車による集材を行ってきたが、森林所有者へ収益を還元するには至らず、林産コストを縮減して収益性を高めることが緊急の課題であった。このため、平成19年度に創設された県の森林環境税を活用し、森林所有者の負担がない作業路の開設に取り組むとともに、高性能林業機械（リース）の導入を開始した。翌20年度からは、列状間伐方式を採用することで、低コスト林産に向けた間伐施業に本格的に着手し、収益を還元することができた。

5 受賞者の声 今回、私達の間伐推進活動に対し賞を頂きました事は、たいへん光栄に存じます。これからも、作業路整備と高性能林業機械を活用した低コスト林産に取り組み、森林所有者への収益還元を図ることで、地域における間伐推進の中核的担い手として更なる活動を展開していきたいと考えます。



平成21年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

1 部門 「林業事業者による森づくり」部門

2 賞 全国森林組合連合会会長賞

3 受賞者 鍋島林業株式会社

住所 長崎県雲仙市国見町神代丙 103

電話 0957-78-2701 FAX 0957-78-5222

4 概要 鍋島林業は1670年から山林経営を始めて、長期にわたって地域林業の発展並びに水源の森として貢献している。現在の経営面積は229haで、昭和9年に九州大学の指導を受け、第一次森林施業計画（10ヵ年）を樹立し、計画的な森林整備で他の模範となっている。計画の理念として所有林の生長量を上回らないことを第一とし持続可能な林業経営を目指している。さらに「保残木施業」を考案し実績を上げている。

30年生まで保育間伐、31年生～70年生まで利用間伐を繰り返し、計画的に間伐された美林は県の展示林に指定されている。

20年度実績 切捨間伐 9ha、搬出間伐 33ha、搬出材積 600m³

保残木施業・・・80年の主伐時に50本/haをバランスよく残存し、下木の主伐時に保残木（160年生）と併せて伐採する。（その間、単木取引も行う）大径材となり、高値で取引され経営上有利。現在約3000本の保残木が管理されている。

